

# 令和5年度「地域学校協働本部事業」 放課後子ども教室の取組事例

## 「葛尾村放課後子ども教室」(福島県葛尾村)

### 取組の概要や経緯

・平成25年度の避難先における学校再開と同時に事業を開始し平成30年から葛尾村で実施している。

・児童の放課後の居場所づくりと、様々な体験・交流・学習活動を通して、子どもの社会性、自主性、創造性豊かな人間性の醸成を図ることを目的としている。



### 内容

- ・対象 : 葛尾小学校児童
- ・実施日 : 平日の放課後15:00～17:00および長期休業中(年間214日)
- ・実施場所 : 葛尾小学校(放課後子ども教室専用教室、体育館、多目的室)
- ・運営 : 小学校、教育委員会、指導員とのミーティングを毎月実施しながら運営している。
- ・活動内容 : 宿題仕上げ、英語活動、工作、運動、ヨガ教室 等



### ポイント

- ① 少人数の特色を活かし、家庭のような温かい雰囲気の中で安心して過ごすことのできる環境づくりに努めている。
- ② 学校・子ども教室・教育委員会による定例会議や、保護者との懇談、学校・担任との情報交換を行い、共通理解を図っている。
- ③ 園児も参加しているため、小学校に入学後小1ギャップを感じることなく、スムーズに小学校生活に順応している。

### 成果

- ・実施日には園児含め14名が全員参加し、子どもたちの放課後の居場所を確保するとともに継続的に安全・安心な活動を行うことができています。
- ・支援員同士の密な連携により安心して活動を行うことができています。
- ・家庭での親子の交流を促す観点から、令和元年度からは園児について原則両親が共働きの場合のみ参加可能とした。
- ・昨年度から子どもたちに向けて新しい体験学習の一環としてヨガ教室を開催している。子どもたちも意欲的に参加しているため、来年度も継続して行う方向でいる。

### 今後の方向性

- ・今後も原則としては現状の状態を維持していくが、地域住民との交流は増やす方向で検討している。
- ・今年度は地域住民や村で活動しているアーティストの方達と交流を行った。来年度も少しずつ回数を増やしていく方向である。
- ・令和5年度に、保護者の要望に応え長期休業中の活動時間を午後に変更し、30分程度延長といった対応をした。
- ・令和6年度については、支援員と相談しながら長期休業中の日数を増やす、内容の充実に向けて協議する方向である。